

そよかぜ 7月園便り

令和5年7月3日（月）

西東京市立そよかぜ保育園

年長さんのお泊り保育を終えて、色々な取り組みが盛り沢山だった6月が幕を閉じました。子どもたちは様々な経験を通して何を感じ、胸に刻んでくれたのでしょうか。やがてそれが生活をしていく上での力となり、次のステップに繋がっていくことを願っています。

そして7月。いよいよ本格的な夏の到来を迎え、プールも始まります！
子どもたちの健康をしっかり守りつつ、夏ならではの経験を楽しんでいきたいと思ひます。

今プランターでは2歳クラス～5歳クラスそれぞれの野菜が育ってきています。毎日お水をあげて成長を確認し、すでに実ったキュウリを美味しく食べたクラスもあります。夏場は水分補給にもなって良いですね。自分たちが育てた野菜の味はまた格別！とは言ふものの、やっぱり苦手な子もいます。そんな時はちょっと塩を一つまみ。「今から魔法の粉をかけるよ。おいしくな一れ！」と塩をパラパラ。これで子どもたち自身も魔法にかかり、美味しく食べられると思ひます。お試しください！

夏祭りの中でも夏野菜を食べる時間を作る予定です。どんな形でどんな野菜が登場するのか、お楽しみに！

▼ 11月、12月 親子遊ぼう会についてのお知らせ

11月18日（土）9：00～11：00 対象クラス：0才、2才、5才クラス

12月9日（土）9：00～11：00 対象クラス：1才、3才、4才クラス

7月の行事

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5 栗本さん 体育遊び	6	7 七夕の会	8
9	10 5才みどり交流	11	12 布団乾燥	13	14	15
16	17 海の日	18	19	20	21	22
23/30	24 / 31	25 誕生会 避難訓練	26 夏祭り	27	28	29

※7/11に予定していた『夏祭り』は26日に変更となりました

自分の番

父と母で二人 父と母の両親で4人 そのまた両親で8人

こうして 数えていくと 10代前で1024人 20代前では なんと百万人を越すんです。

過去無量の いのちの バトンを受け継いで いま ここに 自分の番を生きている

それが あなたの いのちです それが わたしの いのちです あいだ みつを

78年前 多く人たちが犠牲になった沖縄線最後の激戦地・摩文仁の丘。今年も祈りが捧げられた。

「ここにお兄さんの名前があるからさ」祖母はそう言いながら礎にそっと触れ、涙が頬を伝った。京都の大学に在学中 海軍に徴兵され、戦死したという。おばあちゃんの涙を目の当たりにしながら、今なお癒えない傷跡。開成国際高校3年の平安名秋さんは「今 平和を問いかける」を詠まれ、朗読された。

自宅の防空壕前で炊事中に米軍機の攻撃を受け亡くなった人。一家6人日本軍に壕を奪われ転々とした血まみれの兄は米軍の銃撃を受け、まもなく命を落とした。壕内に投げ込まれた手投げ弾で命を落とした。等々、語り継がれているその悲惨さは想像を超えるものだったと思われる。

沖縄・平和記念公園では3千人以上が参加して、亡くなった24万人すべての名前を読み上げている。追悼のための営みは戦争の記憶の継承にもなっている。西原町立西原中学では総合的な学習の時間を使い、西原町で亡くなった6千人余りの名前を全校で読み上げた。読み上げ資料には住所や年齢もあった。同い年の子。自分の家の近くに住んでいた子、学校に入りたてだった子・・・「名前を読むなんて意味が解らない」と言っていた生徒たちが、「一人一人生きていたことを実感した。」という。「必死につないできた平和学習。これからも続けたい。」と語る先生。(6月23日朝日新聞より)

今 私たちは元気に 生きている 当たり前のように生きている。この命は 父や母から その父や母から受け継いできた そして子や孫へ受け継がれていく。

当たり前のように。 健やかに 笑い 時には涙することもあるだろう 小さな幸せを重ねて生きている。自分の番をしっかりと生きていきたい。手をたずさえて

あちこちで諍いの報を聞くたびに 誰が？ 何のために？？ どうして？？？

何人たりとも他者の命を奪うことがあってはならない！「平和の詩」を聴きながら改めて

職員のつぶやき

たつのこの会に入職してから5年目になり、今年初めて年長の担任になりました。日々子どもたちと年長さんならではの行事に参加し、難しい制作への取り組みをされていて、私自身もたくさんのことを学んでいるところです。初めて取り組み事ばかりで、緊張してしまうことが多いのですが、子どもたちは不安な表情を見せることなく堂々としている姿を見て、本当に勇気をもらっています！

そんな年長さんたちと、今月は3泊4日のキャンプに行きます。初めての清里キャンプ。普段はキャンプに行くことがあまりない自分…。これまた不安なことだらけで今から緊張しています…。

ですが、保育士として働いている中で子どもたちとキャンプに行かれる経験なんて当たり前では無い！！ とても良い経験になる！と思い、前向きな気持ちでいる最近です！きく組みんなと楽しい思い出を作っていきたいなと思っています！

西東京みどり保育園 袴田 望